

問 原発再稼働の是非は住民投票で

答 村長が行うというものではない



光風会 恵利 いつ 議員

議員 村内では、原子力問題はオープンに語りにくいという壁がある。村は十分な情報を提供したうえで、住民が率直に意見を言える場をつくるのが今後のまちづくりに必要なのではないかと。

村民生活部長 冷静な議論の場づくりは非常に難しい。まず議員の意見を聞くと共に、今後どのような方法が良いか考えていく。

議員 原発再稼働是非は村の将来に大きく関わる問題であり、住民を分断しかねない問題。だからこそ、一部の人で決定することでは

ない。声なき声を含め、最も民意が反映されるのが住民投票と考える。

村長 合併問題のようなものは住民投票に合っていると考えるが、原子力問題がそこまでのテーマかどうかについては、住民が考えること。住民は自治基本条例にのっとり請求できる。何とか議論の場は作りたくて考えている。しばらく時間をいただきたい。

議員 30キロ圏内に96万人いる。山田村長は東海村の村長だが、村民に対する責任だけにとどまらない。

自治基本条例を上手に使おう!
自治基本条例は、まちづくりのための有用な道具です。議員なので、上手に使えば、すばらしいまちづくりが実現しますが、使ったつもりだけで満足してしまうと、まちづくりは失敗します。条例は活用する必要があるのです。
自治基本条例を上手に使うかわりに、それによって住民のまちづくりが阻害されないかは、村民が、議員が、行政（執行機関）が、ついに、わたしたちが確認する必要があります。条例が活用されることには、関係者が協力することが大切。このパンフレットで、1人1人が、おしえてくれますよ。

東海村

自治基本条例はまちづくりの基本原則

問 東海村消防団の今後の展望は

答 女性消防団の設置に向けて検討中



新政とうかい 飛田 静幸 議員

議員 消防団の活動中の公務災害に対する補償はどのようになっていくのか。

村民生活部長 消防団員の公務上の災害に生じた負傷等の治療に係る療養補償、給与等の収入が受けられない場合の休業補償、一定の障がいが残った際の障害補償等を行って

いる。

議員 消防団の活動中の安全を守るための機能性の高い防火服や消防団車両・車庫を含め各消防団の装備をどのように考えているか。

村民生活部長 消防団員の機能性向上や夜間活動時等の視認性向上のため、消防庁の基準に対応した活動服の採用を検討している。車庫については手狭とな

っていることから、計画的な再整備に向けて検討を進めている。

議員 女性消防団の発足に向けて動いていると伺っているが、定数や活動内容等を含め進捗状況を伺う。

村民生活部長 女性消防団を消防団本部付とし10名程度を、主に災害に至る前の予防啓発活動に従事することを想定した結成方針を検討している。



年始に行われる出初式

一般質問